第6章 異常水質事故発生状況

I 概要

異常水質事故とは、公共用水域に汚水、廃液、油等が排出又は廃棄され、水質の著しい汚濁やそれらによる魚介類等への被害が発生することをいう。

異常水質事故の発生場所や原因等により関連部署は多岐にわたっており、本市では、平成30(2018)年4月に策定した「川崎市水質事故対応要領」*に基づき対応している。

* 平成6(1994)年度～平成29(2017)年度までは、「川崎市異常水質事故対策要領」

II 対象事故

環境局環境保全課で把握した魚死亡、油浮遊等の異常水質事故

III 発生状況

1 異常水質事故発生件数

(1) 種類別事故発生件

令和5(2023)年度に発生した異常水質事故は43件であった。前年度の45件から2件減少した。異常水質事故の種類別では、着色水とその他の水質異常が12件と最も多く、濁水と地下浸透が6件、油浮遊が4件、魚死亡が2件、pH異常が1件であった。

(2) 水系別異常水質事故発生件数(表VI-1)

水系別では、東京湾で15件、多摩川水系で16件、鶴見川水系で12件の異常水質事故が発生した。

東京湾で発生した異常水質事故は、油浮遊が1件、着色水が1件、濁水が2件、pH異常が1件、地下浸透が2件、その他の水質異常が8件であった。

多摩川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が1件、油浮遊が1件、着色水が7件、濁水が2件、地下浸透が3件、その他の水質異常が2件であった。河川別では、多摩川本川で4件(魚死亡1件、地下浸透3件)、平瀬川で3件(着色水2件、その他の水質異常1件)、二ヶ領本川・用水で4件(油浮遊1件、着色水2件、濁水1件、)、五反田川で4件(着色水3件、濁水1件)、その他1件(初山水路・その他の水質異常)であった。

鶴見川水系で発生した異常水質事故は、魚死亡が1件、油浮遊が2件、着色水が4件、濁水が2件、地下浸透が1件、その他の水質異常が2件であった。河川別では、鶴見川本川が油浮遊で1件、矢上川で9件(魚死亡1件、油浮遊1件、着色水3件、濁水1件、地下浸透1件、その他の水質異常2件)、片平川で2件(着色水1件、濁水1件)であった。

表VI-1 水系別異常水質事故発生件数

水系	種類	種類							合計
		魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	
東京湾	川崎港運河内		1	1	2	1	2	7	14
	川崎港運河外							1	1
	小計		1	1	2	1	2	8	15
多摩川	多摩川本川	1					3		4
	三沢川								0
	旧三沢川								0
	平瀬川			2				1	3
	二ヶ領本川・用水		1	2	1				4
	五反田川			3	1				4
	登戸雨水幹線								0
	山下川								0
	六ヶ村堀雨水幹線								0
	宮内雨水幹線								0
	その他							1	1
小計	1	1	7	2	0	3	2	16	
鶴見川	鶴見川本川		1						1
	矢上川	1	1	3	1		1	2	9
	有馬川								0
	渋川								0
	麻生川								0
	早野川								0
	真福寺川								0
	片平川			1	1				2
	江川								0
	その他								0
小計	1	2	4	2	0	1	2	12	
合計	2	4	12	6	1	6	12	43	

(3) 原因別異常水質事故発生件数(表VI-2)

原因者が判明した異常水質事故は29件で、工場・事業場によるものが22件、建設工事によるものが4件、その他が3件であった。

工場・事業場に起因する22件の異常水質事故(油浮遊2件、着色水6、濁水2件、pH異常1件、地下浸透3件、その他の水質異常8件)の原因は、施設の破損が9件、作業ミスが3件、施設の管理不備が6件、原因不明が4件であった。建設工事に起因する4件の異常水質事故(濁水2件、地下浸透2件)の原因は、建築工事が2件、その他の工事が2件であった。また、原因不明の異常水質事故は14件で、魚死亡が2件、油浮遊が2件、着色水が5件、濁水が1件、その他の水質異常が4件であった。

表VI-2 原因別異常水質事故発生件数

原因	種類	魚死亡	油浮遊	着色水	濁水	pH異常	地下浸透	その他の水質異常	合計
	工場・事業場	施設の破損		2			1	3	3
作業ミス				2	1				3
施設の管理不備				3	1			2	6
火災消火									0
原因不明				1				3	4
小計			2	6	2	1	3	8	22
建設工事	下水道工事								0
	河川改修・管理								0
	水道・ガス工事								0
	建築工事				2				2
	道路工事								0
	その他の工事						2		2
小計				2		2		4	
船舶	施設の破損								0
	作業ミス								0
	施設の管理不備								0
	原因不明								0
	小計								0
その他			1	1		1		3	
原因不明	2	2	5	1			4	14	
合計		2	4	12	6	1	6	12	43

2 異常水質事故発生状況の経年推移(平成6(1994)年度～令和5(2023)年度)

(1) 異常水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和5(2023)年度までの種類別異常水質事故発生件数を表VI-3に示す。

過去30年間の平均発生件数は39件/年であった。

表VI-3 種類別異常水質事故発生件数経年推移

年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計
魚死亡	3	3	4	12	1	0	3	3	1	1	0	0	2	2	0	4	5	4	4	3	3	0	1	3	2	0	0	2	3	2	71
油浮遊	13	11	13	24	15	11	18	11	14	20	11	21	20	19	21	14	10	14	19	25	17	23	17	14	16	12	19	14	19	4	479
着色水	3	5	6	8	3	4	9	1	5	6	7	5	27	12	18	38	26	8	21	16	14	18	15	12	14	7	11	9	2	12	342
濁水	1	2	0	0	3	4	6	5	4	4	1	5	4	7	8	14	4	1	2	2	5	8	4	3	3	5	2	2	3	6	118
pH異常	3	2	5	4	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	0	1	1	0	1	2	1	7	4	2	3	1	44
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	6	2	3	5	7	6	32
その他	1	1	2	2	1	1	1	0	1	4	1	0	0	1	2	3	1	7	2	3	4	2	5	3	5	2	6	11	8	12	92
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	45	43	1178

(2) 水系別異常水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和5(2023)年度までの水系別異常水質事故発生件数を表VI-4に示す。

水系別発生件数は、海域では京浜運河(55件)、多摩川水系では平瀬川(246件)、鶴見川水系では矢上川(161件)が最も多かった。

表VI-4 水系別異常水質事故発生件数経年推移

水系	年度																							合計										
	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016		2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023			
東京湾	川崎港運河外		1		4	1	1				3	1	2	3	4	3	2	1			2	1	3	1	1	2	1		1	3	1	42		
	未広運河						1				1	2				1					1	1					2	1	1	1	1	13		
	田辺運河	2	1	2	2				2	1	1					2	2	1		1	5	1	2	1			1					28		
	大師運河			1			1		1	1	1	3	1	4						1	1		2	2	2	2	2	6	3	1	5	2	40	
	京浜運河	2	2	2	3		4	2	1	4			3	1		2		1	1	1	3	4	3	4	1	4	1	2	2	2	2	55		
	千鳥運河					1		2			2						1		1	1	2	1	5	2			1	1	3		3	28		
	塩浜運河	1	3	1								1		1	1	1			4		1	1	2	1	2	1						18		
	池上運河	1		1						1	2			2			1					1											9	
	夜光運河		1																								3	1					5	
	水江運河			1													1							1					1	2	2	4	12	
	浅野運河				1					1	2	1			1			1						1				1					10	
	桜掘運河					1					2					2				1								1					7	
	南渡田運河						1							1	2											3	2	1	2		1		13	
	白石運河											1	2					1				1							1	2		1	1	10
	川崎航路							1								1													1				4	
	境運河												1	1														1		2	1			6
	多摩運河																																	5
小計	6	8	8	10	3	8	5	5	12	10	8	13	12	12	11	6	2	8	9	11	11	11	11	16	11	16	18	15	11	16	13	305		
多摩川	多摩川本川				3	2			1	5	2			1	5	5	5	7	2	1	4	2	2			2	5	2	5	3	1	65		
	三沢川		1	1	1	3		2	1	1	1				2	2	4	1	1	1	2	2		1	2			2		2		33		
	旧三沢川											1									1	2						1	1	1		9		
	平瀬川	5	4	9	7	5	5	1	4	2	6	5	6	23	8	16	34	14	10	11	11	11	15	5	4	6	3	5	7	1	3	246		
	二ヶ瀬本川・用水	6	6	2	8	3	2	5	5	1	2	4	4	3	3	3	1	3	3	2	2	3	5	5	2	2		2	1	4	4	96		
	五反田川	1			2	1	1	2	2				2	2	1		1	1	1	4	2	2	4	7	4	2		1	3		4	50		
	登戸雨水幹線	1			1	1						1																					4	
	山下川							2								1	1	1		1							1			1		8		
	六ヶ村堀雨水幹線				1			2									1			1											1		6	
	宮内雨水幹線			1				1			1						1																5	
	その他				2			2	1					1													6	4	1	3	3		1	24
小計	13	12	13	25	15	8	17	14	9	13	10	13	30	19	27	48	27	17	21	22	22	26	18	18	17	9	16	23	11	13	546			
鶴見川	鶴見川本川				1	1	1	1				1		1		3		1													1	11		
	矢上川	2	4	4	6	4	1	5	2		10	2	2	8	6	6	10	11	7	5	9	8	11	5	3	1	3	6	4	8	8	161		
	有馬川			1	3			4		2		1		3		1	3			4	2		2		1	2	1					30		
	渡川	1		1	1			1		1								1												1		8		
	麻生川			1	3		1	1		1	1				2	3	2	4	2	3	2	2	1	1				2				32		
	早野川			1			1						1		1											1						5		
	真福寺川	1			1	1					1		1			1	1			1	2								1	1		12		
	片平川	1		1				1				1						1		1	2		1	2	2	1		1			2	17		
江川					1		1																1									3		
その他							1												1	4		1				4	2	2	1	1		17		
小計	5	4	9	15	7	4	15	2	4	12	3	6	11	10	11	19	17	11	18	17	11	15	9	8	8	6	11	6	11	11	296			
地下浸透	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	6	2	3	5	7	6	31		
合計	24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	45	43	1178			

(3) 原因別水質事故発生件数

平成6(1994)年度から令和5(2023)年度までの原因別異常水質事故発生件数を表VI-5に示す。

原因不明の異常水質事故は過去29年間で平均23件/年であり、全体の56%となっている。

表VI-5 原因別異常水質事故発生件数経年推移

原因	年度	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計	
工場・事業場	施設の破損	1	6	2		1	2	1	2	2	1	1	2		1	1					1	2	3	2	1	9	11	4	9	12	9	86	
	作業ミス	6		3	5	2	5	7	1	2	6	4	6	5			2	2	4	1	3	1	3	4	2	5	7	6	3	4	3	102	
	施設の管理不備		4	3	5	1			5	3	4	3	1	2	3	1	1	3		3	3	9	7	2	4	11	7	3	7	7	5	6	113
	火災消火				1	1										1								2					1	1			7
	原因不明																			1				1				4	1	1	4	13	
小計		7	10	9	11	4	7	13	6	8	10	6	10	8	3	2	5	2	8	4	13	13	8	10	15	21	22	21	21	22	22	321	
建設工事	下水道工事	1				1		1	1	1					2	1	2					1								1		12	
	河川改修・管理		1	1		3					1	1		1							2		1			1				1		13	
	水道・ガス工事										1						1	2				1							1			6	
	建築工事			1		1		2			1		3	1	2	3	5		2	2	3	2	1	1		2	1				2	35	
	道路工事				1				1	1				1				2					1	2								9	
	その他の工事													2	2					3	1								1	3	2	2	16
小計		1	1	2	1	5	0	3	2	3	2	1	4	4	6	5	11	0	5	5	6	5	1	1	1	2	1	2	5	2	4	91	
船舶	施設の破損		1	1	3	1	2			1	3	2	1	2	1							1		1	2			1		2		25	
	作業ミス		1			1	1			2			1				1		1	2	1		1	1						1		14	
	施設の管理不備													1					1					1				2				5	
	原因不明													1										1					2			4	
小計		0	2	1	3	2	3	0	0	3	3	2	2	4	1	0	1	1	1	2	2	0	3	4	0	0	3	2	0	3	0	48	
その他		1	1	3	5	4	0	2	2	2	3	1	2	0	2	1	0	1	2	2	5	2	2	5	2	3	0	3	4	0	3	63	
原因不明		15	10	15	30	10	10	20	11	9	17	11	14	37	29	41	56	42	20	35	24	24	38	23	20	21	9	17	15	18	14	655	
合計		24	24	30	50	25	20	38	21	25	35	21	32	53	41	49	73	46	36	48	50	44	52	43	38	47	35	45	45	43	1178		

3 異常水質事故発生状況一覧

令和5(2023)年度に発生した異常水質事故の発生状況の一覧を表VI-6に示す。

表IX-6 異常水質事故発生状況一覧

発生・ 受信日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名		原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死亡	油 浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
4/5 ・ 4/5	4/5	鶴見川	矢上川	高津区 子母口			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	矢上川で白濁水が流れていると通報があり、現地調査を行った結果、付近の事業場の排水ピットから漏洩していたことが判明した。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
4/6 ・ 4/6	4/6	鶴見川	矢上川	高津区 東野川			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 高津区役所道路公園センター 神奈川県川崎治水センター なし ③ なし	判明 不明	神奈川県川崎治水センターの職員から水路から油が流出しているとの通報があり、現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
5/2 ・ 5/2	5/2	東京湾	千鳥運河	川崎区 夜光			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 消防局保安課 なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から泡消火剤が海上に流出したと連絡があった。原因は老朽化により消火剤が破損したことによるもの。消火剤にPFOS、PFOAは含まれていなかった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/8 ・ 5/8	5/8	多摩川	二ヶ領用水	高津区 坂戸			○	① 環境局環境対策推進課 なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から腐油を台車で運搬中に容器から油が漏れ、雨水排水口に流出したと連絡があった。雨水排水口等の油は回収、清掃をしたが、敷地外に流れたかは不明。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/10 ・ 5/10	5/10	多摩川	初山水路	宮前区 初山			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 宮前区役所道路公園センター なし ③ なし	判明 不明	宮前区初山水路で泡が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
5/12 ・ 5/12	5/12	多摩川	二ヶ領用水	高津区 溝口			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 高津区役所道路公園センター なし ③ 環境局環境対策推進課 上下水道局中部下水道事務所	判明 不明	市民から二ヶ領用水樋橋付近で白濁水が流れているという通報があり、現地調査を行った結果、解体工事現場の雨水側溝から濁水が流出していることがわかった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名		原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死亡	油 浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
5/14 ・ 5/14	5/14	東京湾	末広運河	川崎区 小島町			○	① 環境局環境対策推進課 なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から汚泥が排水口から流出したと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/15 ・ 5/15	5/15	鶴見川	矢上川	中原区 木月			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 中原区役所道路公園センター なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	市民から工事業者が矢上川へ泥水を流していると通報があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/17 ・ 5/17	5/17	多摩川	二ヶ領用水	中原区 宮内			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 中原区役所道路公園センター なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	市民から二ヶ領用水で白濁水が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
5/19 ・ 5/19	5/19	多摩川	五反田川	多摩区 栗谷			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 多摩区役所道路公園センター なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	市民から五反田川で着色水が流れていると通報があった。原因はポンプ場の清掃作業において、堆積していた鉄バクテリアの生成物が押し流され、放流水に混ざり川に流れてしまったものである。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
5/23 ・ 5/23	5/23	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 宮前区役所道路公園センター なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	平瀬川で白濁水が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
6/10 ・ 6/12	6/12	東京湾	千鳥運河	川崎区 夜光			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 消防局保安課 なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から泡消火剤が海上に流出したと連絡があった。消火剤にPFOS、PFOAが含まれていた。原因は老朽化によるものだと思うが、5/2にも同様の事故が起きていることから、事業者に対し、更なる原因究明を行うよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名		原因者判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
6/13 ・ 6/13	6/14	多摩川	平瀬川	宮前区 平			○	① 環境局環境保全課 宮前区役所道路公園センター なし ② ③	判明 不明	平瀬川で泡が流れていると通報があり、現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	
4/24 ・ 6/15	6/15	東京湾	川崎港	川崎区 東扇島			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から窒素・りんが排水基準を超過したと連絡があった。原因は浄化槽の使用開始直後で水質が安定していないことによるものだった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/23 ・ 6/24	6/26	東京湾	白石運河	川崎区 大川町			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から塩酸が漏洩したと連絡があった。排水経路へ流出し、一部地下浸透した。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/27 ・ 6/27	6/28	東京湾	水江運河	川崎区 水江町			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から配管からナフサが漏洩し、一部地下浸透したと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
6/26 ・ 6/28	6/28	多摩川	水江運河	川崎区 水江町			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から COD が基準超過した状態で排出してしまつたと連絡があった。原因は施設の定期修繕による作業ミスによるものだった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/19 ・ 7/19	7/19	多摩川	多摩川本川	幸区 小向仲町			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から変圧器より油が漏洩し、地面のアスファルトに滴下してしまつたと連絡があった。原因は猛暑により想定以上の電力を使用したことによるもの。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
7/12 ・ 7/24	7/24	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からベンゼンが排水基準を超過したと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名			原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死亡	油 浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	① ② ③			
8/7 ・ 8/7	8/7	鶴見川	片平川	麻生区 片平			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 麻生区役所道路公園センター なし ② ③	判明 不明	麻生区役所道路公園センターの職員が片平川富士見橋下の排水口から白濁水が流れているのを発見した。水路上流を追ったが雨が降っていたこともあり、発生源の特定には至らなかった。		
8/20 ・ 8/21	8/21	鶴見川	矢上川	中原区 井田	○			① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 神奈川県川崎治水センター 環境局中原生活環境事業所 環境局堤根処理センター なし ② ③	判明 不明	市民から矢上川で鯉が大量に死んでいると通報があった。調査した結果15匹ほど死んでいた。原因は不明。川崎治水センターの職員が回収し、堤根処理センターで処理した。		
9/8 ・ 9/8	9/8	東京湾	観音川	川崎区 塩浜			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③	判明 不明	事業者からりんが基準超過したと連絡があった。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した	関係機関が指導 を行った。	
9/11 ・ 9/11	9/11	東京湾	多摩運河	川崎区 港町	○			① 環境局環境保全課 川崎区役所道路公園センター 環境局浮島処理センター 川崎区役所道路公園センター なし ② ③	判明 不明	川崎区道路公園センターの職員がコイ10匹ほど死んでいるのを発見した。翌日回収し、浮島処理センターへ搬入した。		
9/11 ・ 9/12	9/12	東京湾	多摩運河	川崎区 小島町			○	① 環境局環境対策推進課 環境局廃棄物指導課 海上保安庁 なし ② ③	判明 不明	事業者が適切な処理をしないまま排水を公共用水域に流していた。事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導 を行った。	
9/17 ・ 9/19	9/19	東京湾	千鳥運河	川崎区 千鳥町			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③	判明 不明	事業者から油が漏えいしたと連絡があった。直接原因は油圧ホースに高圧がかかったこととジョイントが外れてしまったことによるもの。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導 を行った。	
9/17 ・ 9/19	9/19	多摩川	多摩川本 川	中原区 下沼部			○	① 環境局環境対策推進課 なし ② ③	判明 不明	事業者から路線の補修を行っていたところ油を10Lほど漏洩させたと連絡があった。事業者による清掃と回収を行った。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導 を行った。	

発生・ 受信月日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名		原因者 判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する 措置 原因者の措置の 概要等
		水域名	派川名	場所等	魚 死亡	油 浮遊	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導	①環境局環境対策推進課 なし ②環境局環境対策推進課			
9/22 ・ 9/22	9/22	東京湾	観音川	川崎区 塩浜		○	①環境局環境対策推進課 なし ②環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者からりんが基準超過したと連絡があった。9/8と同様の事故であり事業者に対し、原因究明を行い、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した	関係機関が指導を行った。	
10/30 ・ 10/30	10/30	東京湾	大師運河	川崎区 浮島町		○	①環境局環境対策推進課 なし ②環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から黄色に着色した水が流出したと連絡があった。分析したところへキサントペンゼンが基準値超過していた。原因は排水弁の不良だった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。	
10/31 ・ 10/31	10/31	多摩川	五反田川	多摩区 栗谷		○	①環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 多摩区役所道路公園センター なし ②環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者の排水口から白濁水が流れていくと通報があった。現地調査したが到着した時には白濁水は流れていなかった。当日ポンプ清掃は行っていなかったが一定の水が溜まると排出されるようになっていることだった。	関係機関が指導を行った。	
11/1 ・ 11/1	11/1	鶴見川	矢上川	中原区 木月		○	①環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 国土交通省京浜河川事務所 なし ②なし ③なし	判明 不明	市民から矢上川木月橋付近で白濁水が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	関係機関が指導を行った。	
10/22 ・ 11/9	11/9	東京湾	水江運河	川崎区 水江町		○	①環境局環境対策推進課 なし ②環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から軽油識別剤のクマリンがフランジのパッキンから漏洩したと連絡があった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。	
11/8 ・ 11/10	11/10	鶴見川	矢上川	幸区 小倉		○	①環境局環境対策推進課 幸区役所道路公園センター なし ②環境局環境対策推進課 幸区役所道路公園センター 上下水道局下水道水質課	判明 不明	事業者から誤ってドラム缶を倒し、ジクロロメタン含有の廃油を公道上に漏洩させたと連絡があった。事業者による清掃と回収を行った。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。	
11/15 ・ 11/15	11/15	多摩川	五反田川	多摩区 栗谷		○	①環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 多摩区役所道路公園センター なし ②なし ③なし	判明 不明	市民から五反田川生田橋上流の右岸側から濁水が流れていると通報があり現地調査を行ったが、発生源の特定には至らなかった。	関係機関が指導を行った。	

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名		原因者判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
12/2 ・ 12/4	12/4	多摩川	平瀬川	宮前区 菅生			○	① 調査 ② 回収等対策 ③ 工場等指導 ① 環境局環境保全課 ② なし ③ なし	判明 不明	市民から平瀬川日向橋上流の水路から流れていた白濁水を採取したので回収してほしいと連絡があった。現地に行き採水した水を受け取り、研究所に分析を依頼したが、発生源の特定には至らなかった。	
12/13 ・ 12/13	12/13	多摩川	多摩川本川	中原区 上丸子 八幡町			○	① 環境局環境保全課 ② なし ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から路線の補修を行っていたところ油を2リットルほど漏洩させたと連絡があった。事業者による清掃と回収を行った。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導を行った。
1/18 ・ 1/18	1/18	鶴見川	矢上川に繋がる水路	宮前区 宮崎			○	① 環境局環境保全課 ② 環境局環境対策推進課 ③ 宮前区役所道路公園センター ④ なし ⑤ 環境局環境対策推進課 ⑥ 上下水道局西部下水道事務所	判明 不明	市民から白い水が流れていると通報があった。調査した結果、下水の誤接続が原因であることがわかった。事業者に対し、再発防止策等を記載した報告書の提出と下水道への接続をするよう指導した。	関係機関が指導を行った。
2/12 ・ 2/12	2/12	鶴見川	片平川	麻生区 片平			○	① 環境局環境保全課 ② 麻生区役所道路公園センター ③ なし ④ なし	判明 不明	市民から黄褐色の水が流れていると通報があった。調査した結果、水道管の破裂による復旧工事の原因だった。原因場所は町田市であることから、町田市環境共生課へ再発防止のお願いをした。	
2/26 ・ 2/26	2/26	多摩川	二ヶ領本川	高津区 溝口			○	① 環境局環境保全課 ② 環境局環境対策推進課 ③ 高津区役所道路公園センター ④ なし ⑤ 環境局環境対策推進課	判明 不明	市民から青色の水が流れていると通報があった。調査した結果、マンションの工事に伴う高圧洗浄により着色水が流れていることが判明したが、青い塗料は使用しておらず直接の原因ではなかった。住民の誰かがベランダに青い塗料を流したことで発生したと思われるため、注意喚起のチラシをマンションの掲示板に掲示するよう依頼した。	関係機関が指導を行った。

発生・受信月日	調査月日	発生場所			事故区分		措置機関名		原因者判明区分	事故概要及び措置概要 (被害の程度を含む)	原因者に対する措置 原因者の措置の概要等
		水域名	派川名	場所等	魚死亡	油浮遊	その他	①調査 ②回収等対策 ③工場等指導			
3/7 ・ 3/7	3/7	多摩川	五反田川	多摩区 栗谷			○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 多摩区役所道路公園センター 建設緑政局河川課 上下水道局北部下水道事務所 上下水道局下水道水質課 上下水道局管路保全課 まちづくり局施設計画課 こども未来局青少年支援室 健康福祉局施設課 なし ② ③ 環境局環境対策推進課	判明 不明	生田駅近くの五反田川が白濁している と通報があった。流出している水路から 上流を遡ると、市の公共施設の外壁の塗 装工事を行っていた業者が敷地内の柵へ 排水を流していた。更に調査を進めると 排水系統の誤接続により、本来は污水管 に流れる水が雨水管へ流れ川に流入して いたことが判明した。排水を公共用水域 へ流さないように指導した。	関係機関が指導 を行った。
3/7 ・ 3/7	3/7	鶴見川	鶴見川に 繋がる水 路	麻生区 岡上		○	① 環境局環境保全課 環境局環境対策推進課 麻生区役所道路公園センター 消防局麻生消防署 なし ② ④ ⑤	判明 不明	市民から水路で油が流れていると通報 があり現地調査を行ったが、発生源の特 定には至らなかった。		
3/13 ・ 3/13	3/13	東京湾	白鳥運河	川崎区 大川町			○	① 環境局環境対策推進課 ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ なし ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ 環境局環境対策推進課	判明 不明	事業者から pH を基準超過した状態で 排水してしまつたと連絡があった。原因 は水酸化ナトリウムが混入したためであ った。事業者に対し、再発防止策等を記 載した報告書を提出するよう指導した。	関係機関が指導 を行った。
3/21 ・ 3/21	3/21	鶴見川	矢上川	宮前区 野川本町			○	① 環境局環境保全課 宮前区道路公園センター なし ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ なし	判明 不明	市民から矢上川上野川橋付近の排水口 から泡が出ていると通報があり現地調査 を行ったが、発生源の特定には至らなか った。	
3/21 ・ 3/21	3/21	鶴見川	矢上川	高津区 東野川			○	① 環境局環境対策推進課 高津区道路公園センター なし ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ なし	判明 不明	市民から有馬川と矢上川の合流地点付 近の排水口から泡が出ていると通報があ り現地調査を行ったが、発生源の特定に は至らなかった。	
合計					2	4	37				